

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回所沢市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和5年8月17日(木) 午前10時00分から午前11時50分まで
開 催 場 所	所沢市役所 6階 604会議室
出 席 者 の 氏 名	審議会委員 山谷 修作、秋元 智子、河合 一広、尾崎 範子、神藤 年三、 宮高 隆、高橋 秀世、鳴島 裕子、平山 順子、松尾 恵
欠 席 者 の 氏 名	鈴木 克彦、木下 公次、澁谷 正則、坂根 裕子
議 題	(1) 一般廃棄物処理基本計画の改定について (2) 目標値の設定について (3) その他
会 議 資 料	【次 第】 (1) 資料1：委員名簿 (2) 資料2：一般廃棄物処理基本計画における目標値について 【参考資料】 ○ 令和4年度第5回審議会資料
担 当 部 課 名	環境ｸﾘｰﾝ部 長 安藤 善雄 環境ｸﾘｰﾝ部 次 長 市川 勝也 資源循環推進課 課 長 山屋 貴裕 主 幹 田島 幸雄 主 幹 森澤 律昭 主 査 風間 晴夫 主 査 飯塚 健 主 任 山岡 翔 渡辺 尚子 東部ｸﾘｰﾝセンター所長 大館 正 東部ｸﾘｰﾝセンター主幹 吉田 孝之 西部ｸﾘｰﾝセンター所長 池田 康徳 収集管理事務所長 斎藤 洋一 電話 環境ｸﾘｰﾝ部資源循環推進課 04-2998-9146

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>定刻となりましたので、ただ今から、「令和5年度第2回所沢市廃棄物減量等推進審議会」を開会いたします。出席委員が過半数に達し、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>今回より、所沢連合婦人会の柿木委員の後任として、鳴島様が委員として参加していただくことになりました。（鳴島委員の紹介）</p> <p>それではこれから議事に入らせていただくにあたり、進行につきましては、審議会条例に基づき、山谷会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。本日も円滑な進行にご協力をお願いいたします。</p>
事務局	<p>傍聴者の報告が行われた。（傍聴者2名入室）</p> <p>傍聴要領についての説明が行われた。</p> <p>配布資料（次第、資料1、資料2、参考資料）の確認が行われた。</p>
会長	<p>議事の（1）及び（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事の（1）及び（2）については一つの資料にまとめておりますので、あわせてご説明させていただきます。</p> <p>資料2「一般廃棄物処理基本計画における目標値について」の説明が行われた。</p>
会長	<p>資料2のご説明について、ご質問やご意見はありますか。</p>
副会長	<p>国の目標値 440 g/人・日は、令和7年度である一方で、今回の一般廃棄物処理基本計画の目標年度は令和20年度となっています。国の方で令和20年度の目標値は出ているのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、令和7年度以降の目標値はまだ公表されていません。</p> <p>今後、循環型社会形成推進基本計画が改定され、令和7年度以降の目標値が公表されるかと思いますが、現時点では令和7年度までに 440 g/人・日を達成し、令和7年度以降も減少させていくような目標を今回提示させていただいています。</p>

副会長	<p>リサイクル率が他市に比べて少し低いことについて、どのように考えていますか。</p>
事務局	<p>他自治体を見てみると、拠点回収や処理施設における分別を徹底している自治体でリサイクル率が高い傾向が見られます。そのような取組を所沢市でも推進出来ればリサイクル率は改善するかと考えています。</p>
事務局	<p>今の説明に補足します。</p> <p>資料の2ページ目をご覧くださいと思いますが、東京都多摩地域を見ると、埼玉県内よりもリサイクル率が高くなっており、直接的な関係性の分析はしていませんが、有料化を導入していることが大きいかと思いません。</p> <p>また、埼玉県西部地域は政策についても共同で実施しており、同じようリサイクル率になっています。ただ、日高市については太平洋セメントが立地している関係でリサイクル率が低めとなっています。</p> <p>リサイクル率については、施策の差や有料化が関係しているものと考えております。</p>
会長	<p>確かに、有料化が進んでいる東京都多摩地域の方がリサイクル率は高くなっていますし、ごみの排出量も少なくなっているのが分かります。特に、国分寺市、小金井市はごみ量が少なく、リサイクル率が高くなっています。小金井市は焼却施設がなく、国分寺市は清掃工場の老朽化が進んでいたため、両市ともごみの減量・リサイクルに力を入れざると得なかったことが背景にあります。ごみ処理の危機が影響を与えたと考えられるかもしれません。</p> <p>それでは、数値目標の方向性として、ケース1、ケース2の2通りの目標値が示されていますが、どちらにすべきか、委員の皆さまのご意見を伺いたいと思います。</p>
副会長	<p>私は、事業系ごみはこれからDX化が進めば紙ごみが減っていくものと思いますが、家庭系ごみは何か特別な施策を講じないと減らしていくのは難しいと思います。ただ、市の意欲的な気持ちがあれば、ケース2を目標値として設定してよいと思います。食品ロスの削減やごみの発生抑制、資源化をしっかり推進していけば、達成できるかもしれません。</p>
委員	<p>アグレッシブな目標値を設定していますので、私はどちらでもよいと思っています。一方で、ごみ量は減少している中で、さらに減らす目標を掲げることについて、どのように市民に理解を求めていくかが重要かと思っています。もう少し具体的な計画を検討して、市の強い意志を見せた方がよいと考えます。例え</p>

委員	<p>ば、焼却施設の建て替えや最終処分場の設置のために市はこうしたいなど、将来を見据えた目標を掲げると市民にも理解を得やすいと思います。</p> <p>資料のご説明を聞いて、市民の皆さん、事業者の皆さん、市役所の方が、ごみの減量に向けて頑張っているのだなと感じました。</p> <p>私も、ケース2でよいと思いますが、このような施策を実施すれば、この程度の数値目標が達成できるといった、具体的な方法が見えてくる方がよいと思います。</p>
委員	<p>私は、どちらかというと、目標はやはり高い方がよいので、厳しい目標設定のケース2が良いと思います。</p> <p>また、私の住んでいる地区では「もったいない市」を実施しており、使えるものと使えないものを分けて、業者に引き渡すということをやっています。食品ロス削減の取組（フードドライブ）では消費期限がせまったものの搬入を想定していましたが、十分に消費期限が残っているものを持って来る人が増えています。このように、ごみを減らす努力をもっと市民全員で出来ればよいと思います。どこの企業もごみは減らしたいと思います。そのためには、どのようにしたらごみを減らせるか、ごみとして排出しているものはどのように再利用できるかといったことをもっとPRした方がよいと考えています。</p>
委員	<p>私も目標値は高い方がよいと思っていますが、所沢市の人口は減少傾向にあり、ごみ量は自然減少していくと思われれます。また、前回の審議会で集団資源回収が減少傾向にあるということで、リサイクル率は、ケース1の場合約27%、ケース2の場合約30%となっていますが、ケース1で設定した方がよいと思います。</p>
委員	<p>私は、会社経営をしておりますが、委員になったことをきっかけに自分の会社からごみを減らしていくことを始めました。可燃ごみと一緒に出していたものをリサイクルに回すように徹底した結果、ごみ回収に係る料金が安くなりましたし、社員のモチベーションも変わってきました。</p> <p>事業系ごみに関して、経営者への意識改革や回収業者への呼びかけをもっと推進すれば、ごみ量は減っていくのではと思いました。</p>
委員	<p>生ごみは出来るだけ絞って出すとか、色々な取り組みを個人でやっていますが、ごみの減量などについて、今後いろいろと勉強させていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>私も皆さんと同じ意見になるかもしれませんが、5年後、10年後というの</p>

委員	<p>は、今の若者が中心になっていく時代だと思います。今の若い人たちは、ごみの分別などをあまり考えていない人が多いと思いますので、若い人たちにごみの処理や排出方法についてより理解してもらうことが重要と思います。</p> <p>また、飲食店や事業者にも生ごみを減らす施策を打っていくとよいと思います。</p> <p>ケース1もケース2も目標値としていろいろな計算のもとに掲げていただいているかと思いますが、市民としては、数値を示されてもあまりよく分からないのではと思います。前回の審議会の際に、東部クリーンセンターを見学させていただきましたが、分別しているプラスチックが全て焼却に回っているのを見てショックを受けました。数値だけだと市民は動けないと思いますので、このようにしたらリサイクルできるといった、目に見えて分かるような施策を提示した方がよいと思います。</p>
会長	<p>皆さん、ありがとうございます。</p> <p>全体としましては、ケース2のように、かなり厳しめに大胆な目標値を設定した方がよいという意見が多かったかと思います。また、先を見据えた目標の設定や、分かりやすく説明することといった意見もありました。ごみ量の減少などが進んでいくと、更なる減量余地は徐々に小さくなって限界に近づいていきますが、その中でもさらに取組を強化していく必要があると思います。私自身はもっと大胆な減量目標を設定してもよいと考えています。</p> <p>事務局の方から、ご意見はありますか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。事務局としましては、皆さんからいただいたご意見を踏まえまして、今後の計画の改定を進めていきたいと考えております。</p> <p>目標は高く設定するといったご意見をいただきましたが、いろいろな数字が出てくるので、混乱を招くおそれがあると感じました。今後の改定にあたっては、数値をもって、市が訴えたいことを前面に打ち出していく必要があると考えております。</p> <p>また、市民へのPRの話も幾つかありましたが、どのようにごみを分別して処理しているのかといったことを、出前講座や広報、SNS等を通じて周知していきたいと考えております。</p>
事務局	<p>今の説明に補足します。</p> <p>いろいろなご意見をいただき、非常に参考になりましたし、具体的に検討していた施策の方向性に確信を持たれた部分があります。</p> <p>先を見据えてという話ですが、先日見学に行った東部クリーンセンターの他に西部クリーンセンターがありますが、老朽化が進んでいることもあり、今後</p>

	<p>施設をどうするかということを検討しています。これまで、一般廃棄物処理基本計画の改定案として施策体系を提示させていただいていますが、その中に広域化について掲げています。現在、入間市との共同処理を検討している段階ですが、焼却だけでなく、資源化も合わせて進めていくような施設の建設が出来ないかと考えております。</p> <p>また、事業系の紙ごみの話が出ていましたが、回収業者にお願いするよりも、処理費用が安くなるといったメリットを周知しながら、排出段階で紙として分別をしていただくことをお願いしていきたいと考えています。</p> <p>他にも、剪定枝の資源化を実施している自治体があり、その調査研究も進めています。</p> <p>以上を踏まえて、お示した施策体系の方向性はそのまま、その中で高い目標を設定していきたいと考えています。</p> <p>最後に、クリーンセンターでプラスチックが全て焼却に回っているという御意見がありましたが、おそらくプラスチックを手選別しているところを見ていただいたのだと思います。所沢市では、容器包装プラスチックなどは水ですすいでから出すようお願いしていますが、焼却処理しているのは、汚れていて資源化が出来ないプラスチックであって、きれいなものはリサイクルしています。焼却処理したプラスチックはサーマルリサイクルとして施設の電力に還元していますので、そこだけお伝えさせていただきます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局からの説明に対して、ご意見等あればお願いします。</p>
委員	<p>私個人の意見ですが、リサイクル率を目標値として設定するのは、古いのではと考えています。発生抑制やリユースを進めていくと廃棄せざるを得ないもののみが排出されることとなります。リサイクル率は、市が把握しているもののみで算出しているかと思います。国は全体的に見ているので、大まかな数値を出していますが、あまりそこに固執して目標を達成できなかったなどするのは違うのではと感じています。リサイクル率の指標と数値は示してもよいですが、目標として設定しなくてもよいと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>リサイクル率をこれから向上させていくことは至難の業と思っています。</p> <p>私が関与している自治体で実施した一般廃棄物の可燃ごみの組成調査で、紙おむつの家庭系ごみに占める割合は約5%でしたが、事業系ごみに占める割合は約20%でした。紙おむつですが、吸水ポリマーなどが含まれるため、実際には半分がプラスチックごみで、介護施設などの事業所から出ているプラスチックごみということになるので、本来であれば産業廃棄物に分類されます。そ</p>

事務局	<p>のため、排出者責任というものを明確にして、排出の段階で事業者に分別を働きかけるとするのが基本であると考えます。2年ほど前の環境省のアンケート調査では、自治体のごみとして受け入れることをやめたとの回答がありました。リサイクル技術は日進月歩で進展しているので、産業廃棄物として処理をしたほうが技術革新が進むのではないかと個人的には考えています。</p> <p>リサイクル率に関するご意見は、その通りだと思っています。リサイクルに計上されるのは、その市に排出されたものであって、スーパーなどで回収されたものは、リサイクル率には反映されないの、この数値を示すべきなのかについて、今後検討する必要があると考えています。</p> <p>紙おむつの話ですが、所沢市の組成調査において、家庭系燃やせるごみ年間約6万tのうち、6%が紙おむつという結果が出ています。ここに事業系のものが加わるとさらに増えると予想されますが、パルプとプラスチックの資源化は燃料化の分野でしか確立していないため、紙おむつのリサイクルについては、技術革新の動向を見ながら検討していきたいと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料の5ページ目をご覧くださいと思います。目標設定の方向性が示されていますが、それを達成するためにどのような取組を行うかが重要になってきます。</p> <p>まず①ごみの発生抑制について、非常に幅広い取組方法がありますが、インパクトのあるものとしては、ごみの有料化が効果的になってきます。それから、最近推進されているものとして、民間ルートを活用が挙げられます。</p> <p>また、②食品ロスの削減ですが、この削減余地はかなり大きいということが分かっています。</p> <p>以上の2つを主な方向性として示しているということです。</p>
委員	<p>数字で示されると、市民はなかなかピンとこないと思います。市民はこれだけ頑張った、またはどれだけ資源を活用できたのかということ何か指標に出ればと思います。</p> <p>先日、プラスチックの資源化を行う旧昭和電工のレゾナックに見学に行きましたが、相当な人数で手選別をやっていました。手選別に従事する人を減らせるように、人の手を煩わせない方向へ持って行くのも大事だと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。お話のあったレゾナックですけれども、市で排出されたプラスチックをリサイクルし、アンモニアに変換して市の焼却施設の排ガス処理に利用される流れとなっております。</p> <p>また、手選別の話ですが、プラスチックの中にペットボトルが未だに入って</p>

	<p>いたり、たまにリチウムイオン電池が含まれるモバイルバッテリーなどが入っているため、なかなか人の選別を減らすことが出来ない状況です。そのため、出来るだけ排出段階で分別を徹底していただき、分別が進めば、手選別に従事する人の数も減らせると考えております。</p>
委員	<p>クリーンセンターを見学した際に、ごみを燃やすときのエネルギーになるため、プラスチックごみはある程度必要であるという話を聞いて、全てプラスチックがリサイクルに回るのはどうなのかとも思い、バランスが難しいように感じました。</p> <p>先ほど、人の手を減らすというご意見がありましたが、他自治体でプラスチックと燃えるごみを1つにまとめて、処理施設で選別してプラスチックをきれいに洗ってリサイクルに回しているということを知ったことがあります。所沢市でもそのような機械を導入して処理を実施すれば、リサイクル率もあがるし、人の手を煩わせなくてよいのではないかと思います。</p>
会長	<p>容リ協ルートでの処理の場合、品質検査を受けることになり、不適物があまりに多いと処理の受入をしてもらえなくなる恐れがあります。そのため、排出段階でプラスチックを分別し、きれいにしてから出していただくということが大前提になります。</p>
副会長	<p>参考資料の2ページ目を見てもみますと、ごみ組成の割合が出ているかと思いますが、生ごみ、雑誌・雑紙、古着・古布等の重量ベースで重さを占めている品目から減らしていくのが、ごみ量を削減するポイントかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。皆さんのご意見は出揃いましたでしょうか。</p> <p>それでは、一般廃棄物処理基本計画の目標値の設定ですが、今回皆さんからいただいたいろいろなご意見を参考にさせていただいて、会長、副会長、事務局で改めて検討させていただき、目標値の原案を次回の審議会でご提示させていただくということによろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、議事の(3)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>その他ということですが、特にお諮りする内容はございません。今回いただいたご意見を踏まえて、一般廃棄物処理基本計画の案について、これまでお示ししていなかった部分も含めて作成し、次回お示ししたいと考えております。</p>

事務局	<p>一般廃棄物処理基本計画の改定にあたりまして、これまで皆さまからいただいたご意見も集約しまして、計画書の方にも反映させていただきたいと考えております。</p> <p>次回の審議会ですが、11月上旬の開催を予定しておりますが、詳細な日程については後日調整させていただき、メール等でご連絡させていただきます。</p>
会長	<p>以上で本日の議事はすべて終了しました。締めのご挨拶を秋元副会長にお願いできればと思います。</p>
副会長	<p>皆さま、本日はお集まりいただきありがとうございました。ご意見もいろいろお聞かせいただき本当にありがとうございました。私自身、ごみを減らさないといけないと家庭の中で格闘していますが、昨日雑紙の整理をしたところ、買い物袋2袋ほどになり、家の中はかなり溜まっていました。分別はなかなか難しいところがありますが、回収頻度を増やしたり選別の機械を導入すると財源の問題やCO2の排出量も高くなりますので、調和を考えながら、どのような施策が良いか、今後皆さんと一緒に考えていければよいと感じました。</p>
会長	<p>それでは事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>本日は、長時間にわたりましてご審議いただき、ありがとうございました。これにて、本日の審議会を閉会とさせていただきます。</p>